
編集後記

今号は「徳ときずな」というテーマを取り上げ、少し新しい形で編集しました。ご多忙の中、インタビューをお受けくださった稲盛財団理事長稲盛和夫様、論考をお寄せくださった先生がた、どうもありがとうございました。本誌をお送りしている方々から、ときおり「楽しみに読んでいます」と声をかけられるようになりました。「ここを知り、未来を考える」学術広報誌、これからもご愛読ください。(吉川)

最近、2回目の東日本大震災の被災地調査をおこなった。5月初めに4日間かけて調査した宮城県仙台市若林区から岩手県久慈市まで沿岸部約350キロほどを追跡再調査したのだが、瓦礫の撤去もまだ終わっていない様子、復旧作業にかなりの時間がかかりそうで、この冬のことが心配になった。「中央」で議論していることと、「地域」の現実との落差を感じた。日本はどうなるのか？(鎌田)

大学時代に動物行動学を学んだときの最大の衝撃の1つが「薄め効果」であった。なぜ動物が群れを作るのか説明する理論の1つなのだが、その内容は身も蓋もない。群れを作れば(他個体が壁となるので)、自分が食べられる危険性が薄まるから、というのである。それと比べて人間の群れのきずなのなんと深いことか。人付き合いは難しさもあるが、やはり人間でよかったとつくづく思う。(平石)

本号から論考を中心に特集テーマを設け、インタビューなども関連させることになりました。また、全体に少しレイアウトを変えました。より良い誌面づくりを目指して一歩ずつ進んでいきたいと思っています。ご意見ご感想などをお寄せいただければ幸いです。(原)

こころの未来
OKORO RESEARCH CENTER
KYOTO UNIVERSITY

第7号

発行日.....2011年9月30日

発行.....京都大学こころの未来研究センター
〒606-8501
京都市左京区吉田下阿達町46 京都大学稲盛財団記念館内
電話 075-753-9670 FAX 075-753-9680
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>

編集委員.....吉川左紀子+鎌田東二十平石界+森崎礼子

表紙写真.....小山敦寛 曼珠沙華に蝶

編集・制作.....編集工房レイヴン 原 章

デザイン.....鷲草デザイン事務所 尾崎閑也

印刷.....株式会社 NPC コーポレーション
